

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆協働の中心をなす企業理念

現代の精神的共存共栄関係の基本的なところに位置づけられるのが、企業の「想い」とか「ロマン」とかいった理念や哲学の類のものである。この企業の「想い」「ロマン」は経営者の「想い」「ロマン」、企業の歴史的なモノが中心となる。

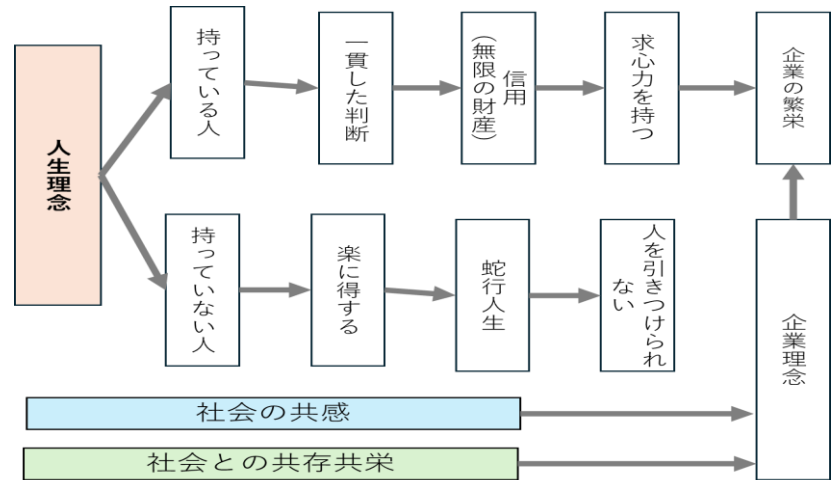
① 経営者の人生理念

「自分の生き方」に理念を持たない人は経営者になっても意味がない。

人生理念を持つ人は筋の通った判断をする。持っていない人は自分の信念に基づかず、得・損で判断するから一貫しない。それを蛇行人生と言っている。一方で理念を持っている人とは安心して付き合える。それが信用であり、無限の財産と表現される。従って、経営者は信念、理念、哲学を持つべきである。「これが自分の人生で最も大切にしたい理念である」というものを持たなければならない。

② 人生理念と企業理念の連動で企業は繁栄する

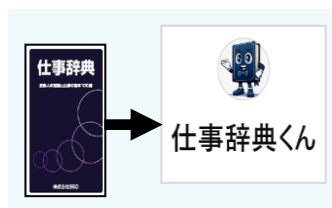
社会との共感性、共存共栄から企業理念が出てくる。企業理念と人生理念が連動して「企業の繁栄」がもたらされる。



◆「仕事辞典GPT」が誰でも使えるようになりました！

以前ご紹介した、Chat GPTのGPT機能を活用した「仕事辞典GPT」が、すべての方にご利用いただけるようになりました。これまではChat GPTの有料会員限定の機能でしたが、今後は誰

でも自由に利用することができます。「仕事辞典GPT」は、書籍『仕事辞典』に基づき、仕事に関するアドバイスや質問に答えるツールです。特に新入社員が気軽に相談できるアドバイザーとして、ご活用いただけます。ご興味のある方は、右のQRコードをスキャンするか、以下のURLよりぜひアクセスしてみてください。



《仕事辞典 GPT》

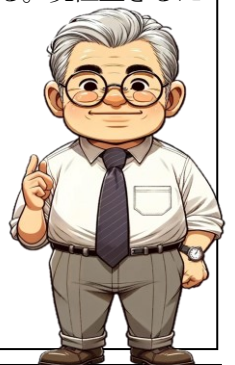
<https://chat.openai.com/g/g-efegbQhyG-shi-shi-ci-dian-kun>

◆西山語録「現代人の生き方」

今やっている仕事は、時代の移り変わりとともに、役立たずになっていき、他の方法に代替して行く。

現代の産業人は、自分の専門分野では他の人に引けを取らないよう常にレベルアップに研鑽する必要がある。また、一生に専門と言えるものを3、4職種は持たないと、生きた化石になると考えておかなければならない。

このような挑戦方法に、画一的なモノはない。自分流を編み出すことが出来ただけが、現代産業社会で生きて行くことが出来る。自分の時間の使い方には、7：2：1の原則と云った参考にしたら良いものがある。現在生きるために使うエネルギー：7、明日生きるために使うエネルギー：2、将来生きるために使うエネルギー：1である。プライベートな時間も大切であり、無計画にしようとする、24時間365日使っても足りない。タイムシェアリングライフ（時分割生活）で沢山ある生活課題をこなしていくことがコツである。



詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ